

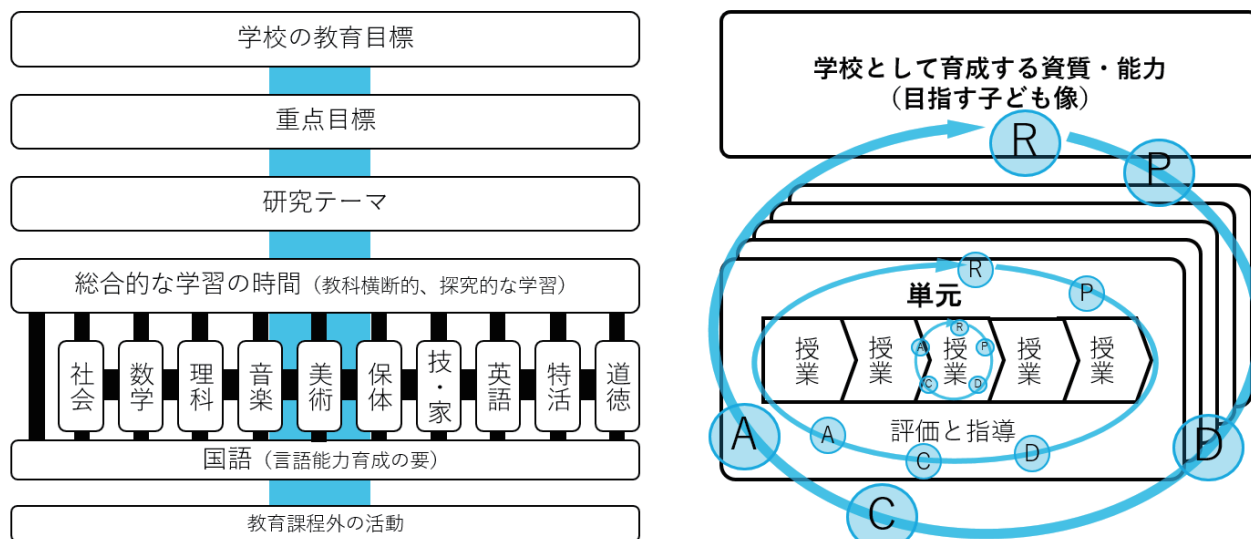
学習評価を踏まえた授業づくりの道すじ

学習評価の意義を改めて確認しましょう

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童・生徒の学習状況を評価するものです。教員が「児童・生徒にどういった力が身に付いたか」という学習成果を的確に捉え、指導の充実・改善を図るとともに、児童・生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするために、学習評価の在り方は重要です。そのため、学校には、教育課程や指導方法の充実・改善と、一貫性のある学習評価の取組を進めることが求められています。

- 教員が、指導の充実・改善を図る
- 児童・生徒自身が、自らの学習を振り返り、次の学習に向かうことができるようにする

カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価



(ある中学校での取組みイメージ)

各学校では、それぞれの教員が、カリキュラム・マネジメントの一環として指導と評価を行っていくことで、学校の教育目標などと、日々の授業が結び付いていきます。

このリーフレットを活用し日々の授業を充実させましょう

県教育委員会としては、各学校において、このリーフレットに加え、「カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価 学習評価資料集 (小学校, 中学校)」(令和2年3月 県教育委員会)を積極的に活用していただくことで、日々の授業が一層充実したものになることを願っています。